

多高通信

第165号 平成31年4月25日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

祝 44回生入学おめでとう!!



4月8日、平成31年度入学式が挙行され、280名の新生が多賀城高校に入学しました。入学式では新入生代表の佐藤あいりさん(宮城野中出身)が本日より諸規定を固く守り、生徒としての本分に反しないよう学業に精励することを誓いますとの宣誓を行いました。



翌9日には対面式・部活動紹介が行われ、各部の趣向を凝らした紹介や、生徒会執行部のスピーチ等が行われました。また、ホームルームにおける学級開きでは初々しく自己紹介する姿が見られました。25日には、秋保リゾート森林スポーツ公園での校外オリエンテーションが行われました。クラスの親睦を深め、早く学校に慣れ、多高生として学習に部活動にどんどん力を注いでもらいたいと思います。

つくば Science Edge 2019

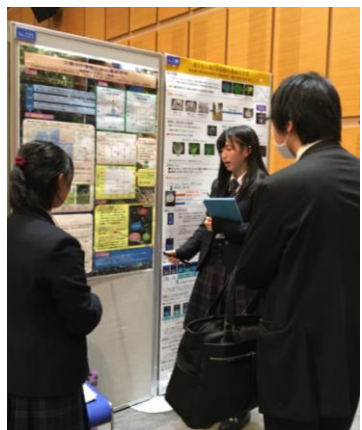
3月23日、24日の2日間、茨城県つくば市のつくば国際会議場でつくば Science Edge 2019が開催されました。未来の科学者を目指す中・高校生がつくばの地に集い、ノーベル物理学賞受賞者の江崎玲於奈博士をはじめとした日本を代表する科学者達が直接審査・アドバイスをを行う、未来の科学者に贈る新しいタイプのコンテストです。本校からは科学部から宮城県多賀城高校 Balsa. バスターズ Part2」海藻類による環境評価と環境保全」縦波と横波の速さの違いについて」の3本、災害科学科から「いのちとくらしを守る災害医療」震災による植生への影響と環境要因の結びつき」土壌中の窒素化合物濃度測定による津波被災地域の「一考察」の3本のポスター発表を行いました。

この体験を通して生徒達は、情報発信力や表現力を養うとともに、多くの発表を目的の当りにしたことで、図表の効果的な配置の仕方やテーマ設定等、探究活動の基礎の多くを学ぶことができました。



■佐藤 美咲(2年7組 田子中出身)
つくば Science Edge2019 は、北は北海道から南は沖縄まで、更には海外からの発表者が来る大きな発表会でした。私はこのような素晴らしい発表会に参加することができ心から嬉しく思うとともに、全国の研究発表のレベルの高さを知りました。今後は、全国の高校生の研究発表に負けないよう、研究内容で今回指摘された部分をしっかりと修正して、次の発表会に繋げて行きたいと思っています。

■阿部 美鈴(3年7組 多賀城中出身)
つくば science edgeに参加して、自分たちが1年間掛けて取り組んできた研究内容を研究者の方々に伝えることができ、更には



同じ年代である中高生との議論を経ることで、自分たちの研究をより良いものにするための刺激をたくさん得ることができました。これから3年生に進級してからも、より一層内容を掘り下げて研究に取り組みたいと思います。

男子ソフトテニス部 ウィナー杯優勝!



3月30日に行われた、2019ウィナー杯高校選抜ソフトテニス春季大会に出場してきました。当日は雪交じりの雨が降る中というコンディションでしたが、本校の生徒はその状況にも負けずプレーをしていました。その結果、高木・鈴木ペアが見事優勝を果たすことができました! 今後とも応援をよろしくお願いします。

吹奏楽部

楽天イーグルス開幕戦



国歌演奏

■打楽器・パートリーダー (3年3組 田子中出身) 阿部 柾磨
4月3日の楽天イーグルスのホーム開幕3連戦で、国歌の演奏をさせていただきました。今回は、3年生中心の20名で演奏を行いました。たくさんの方々の観衆の中で吹奏楽部の仲間と演奏できたことは本当に幸せでした。本イベントを運営なされた方々に感謝しております。私は普段、打楽器を担当しているのですが、今回は学生指揮者として参加しました。指揮者として大きな舞台に参加することは、二度とできないような経験だと思えますので、本当に嬉しかったです。ま

た、通常とは違う立場から吹奏楽をできたことは今後の活動の中に活かすことができるので、最高学年としてさらに良い音楽活動ができるように努力していきたいと思えます。

新年度を迎え、いよいよ、我々3年生にとつては、全てが最後の行事になります。新しい1年生を加えて、今後も感動できる演奏を目指して頑張りたいと思いますので、今後とも応援よろしくお願いたします。

吹奏楽部

第21回 日本ジュニア

管打楽器コンクール全国大会



本番の様子

■サクソパート パートリーダー 山本 凜花 (3年1組 岩切中出身)
今回、日本ジュニア管打楽器コンクールに出場し、沢山のことを学ぶことができました。普段は吹奏楽部として部員全員で活動していますが、アンサンブルでは8人という少人数での活動となり、より一人一人の責任も大きく意見も活発に出し合わなければならず、うまく練習が進まないこともありましたが、全国の舞台でこのチームで演奏することができて本当に良かったと思っています。



また、遠征先では、講師の先生をはじめ沢山の方々に協力・応援をいただき、改めて多くの方々のおかげで部活動をおこなうことができると実感しました。これからは、定期演奏会や夏の吹奏楽コンクールに向けてアンサンブルで学んだことを部活全体に生かして頑張っていきたいと思っています。